



# 反重力 漂遊 時空旅行 Antigravity

レアンドロ・エルリッヒ  
Norimichi HIRAKAWA  
カーテン・ヘラー  
Carsten HÖLLER  
河原温  
On KAWARA  
ジルヴィナス・ケンピナス  
Zilvinas KEMPINAS  
クワクボリヨウタ  
Ryota KUWAKUBO  
松澤宥  
Yutaka MATSUZAWA  
毛利武士郎  
Bushiro MOHRI  
内藤礼  
Rei NAITO  
中原浩大 + 井上明彦  
Kodai NAKAHARA + Akihiko INOUE  
中村竜治  
Ryuji NAKAMURA  
中谷美二子  
Fujiko NAKAYA  
エルネスト・ネト  
Ernesto NETO  
奥村雄樹  
Yuki OKUMURA  
佐藤克久  
Katsuhisa SATO  
やくしまるえつこ  
Etsuko YAKUSHIMARU

豊田市美術館 9.14 (Sat.) – 12.24 (Tue.), 2013

休館日=月曜日(9/23、10/14、11/4、12/23は開館) 開館時間=10:00-17:30(入場は17:00まで) ※10/12、10/13、10/14は20:00まで開館

Opening Hours: 10:00-17:30 (last entry: 30 minutes before closing) Closed on Mondays (except 9/23, 10/14, 11/4, 12/23)

主催=豊田市美術館、テレビ朝日、メーテレ 共催=朝日新聞社 後援=アルゼンチン共和国大使館 協力=NECディスプレイソリューションズ、ステラ株式会社、有限会社落合製作所

特別連携=あいちトリエンナーレ実行委員会 メンバーシップ=トヨタ自動車株式会社

特別連携=あいちトリエンナーレ実行委員会 メンバーシップ=トヨタ自動車株式会社

料金=一般1,000円(800円)、高校・大学生800円(600円)、中学生以下無料 ※()内は前売り及び20名以上の団体料金 ※市内高校生、障がい者、市内75才以上は無料(要証明)

料金=一般1,000円(800円)、高校・大学生800円(600円)、中学生以下無料 ※()内は前売り及び20名以上の団体料金 ※市内高校生、障がい者、市内75才以上は無料(要証明)

※「あいちトリエンナーレ2013」国際美術展チケットをご持参いただければ、当日の企画展観覧料を100円割引します(1回限り)。ただし他の割引との併用はできません。

前売券=豊田市美術館、チケットぴあ(Pコード:765-833)にて発売(9/13まで)



Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art  
豊田市美術館

# 反重力 浮遊 | 時空旅行 | パラレル・ワールド

反重力とは、重力に抗する力で、創成時の宇宙にインフレーションを起こし、今日の宇宙を加速膨張させているといわれています。SF作品では、宇宙飛行やテレポーテーション、空中都市の原理として、物質・物体に関わる重力を無効にし、調節する架空の技術として登場します。加速度的に非物質化していく現在の社会を反映し、私たちの身体や生活を規定してきた枠から逃れるものとして、ここに「反重力」という言葉を掲げます。

本展では、身体から解放されるような軽やかな空間性を感じ、世界を巨視的な視点で眺めて地上の価値観から離れ、宇宙的な視野を持つことを目指します。空中都市や宇宙飛行は、はるか昔から人間のユートピアに対する憧憬を説いてきました。これまでの人間の生活の基盤から離れるとき、それは希望に向かうのでしょうか、それとも絶望に繋がるのでしょうか。「反重力」について考えることは、現代のユートピア観を考えることにもなるでしょう。

Antigravity is said to be the force that is accelerating the expansion of today's universe – the power of repulsion, in opposition to gravity, that led to the sudden inflation of the universe soon after the big bang. In works of science fiction, the concept of antigravity is often found in hypothetical technologies that nullify or control the effect of gravity on matter, on objects; it serves as an underlying principle in visions of space travel, teleportation and floating cities. In this exhibition we are adopting the term to reflect today's society with its accelerated dematerialization, and to imply a sense of being freed from the limitations of the physical body and gravity that have always prescribed our lives.

In this exhibition, we will present works that elicit a buoyant spatiality seemingly free from the body, that grasp this world with a macroscopic viewpoint removed from on-the-ground sensibilities. When the foundations that have supported people's lives fall away, does hope spring forth, or does the path ahead only lead to despair? For focusing on the subject of antigravity may also lead to a questioning of today's utopianism.

1.レandro・エルリッヒ《豊田の家》2013年 / Leandro Erlich, *Toyota House*, 2013  
2.平川紀道《irreversible》2011年 / Norimichi Hirakawa, *irreversible*, 2011  
3.ジルヴィナス・ケンビナス《ビヨンド・ザ・ファンズ》2013年 / Zilvinas Kempinas, *Beyond the Fans*, 2013  
4.クワクボリョウタ《10番目の感傷(点・線・面)》2010年 / Ryota Kuwakubo, *The Tenth Sentiment*, 2010, ©2010 Ryota Kuwakubo, photo: Keizo Kioku, photo courtesy: ICC  
5.中原浩大+井上明彦《パラボリックライトを利用した微小重力体験飛行における実験》2001年 / Kodai Nakahara + Akihiko Inoue, *Microgravity Experiments in Parabolic Flight*, 2001  
6.中村竜也《豊田市美術館のためのインスタレーション(仮)》2013年 / Ryuji Nakamura, *Installation for Toyota Municipal Museum of Art (tentative title)*, 2013  
7.奥村雄樹《多元宇宙の缶詰》2012年 / blanClass(横浜)でのワークショップ / Yuki Okumura, *Canned Multiverse*, 2012, photo: ©2012 blanClass, Kosuke Hatano, courtesy: the artist and MISAKO & ROSEN  
8.佐藤克久「リアル・ジャパニスティック 世界の中の日本現代美術」(国立国際美術館)でのインсталレーションビュー 2012年 / Katsumisa Sato, installation view of *Real Japanese: The Unique World of Japanese Contemporary Art* at The National Museum of Art, Osaka, 2012 photo: Kazuo Fukunaga, 2012 courtesy: Kodama Gallery  
9.やくしまるえつこ「やくしまるえつこと.v.d - Guruguru Earth」2011年 / Etsuko Yakushimaru *Etsuko Yakushimaru and d.v.d - Guruguru Earth*, 2011  
10.エルネスト・ネト《私たちいる神殿のはじめの場所、小さな女神から、世界そして生命が芽吹く》2006年 豊田市美術館蔵 / Ernesto Neto, *First part of the temple that we are, from a little goddess sprout the world, the life!*, 2006 collection: Toyota Municipal Museum of Art  
11.内藤礼《ひだ》2011-12年 / Rei Naito, *Human*, 2011-12 photo: Rei Naito, Courtesy: Gallery Koyanagi

4, 8, 9, 11は参考写真

## [関連プログラム]

### ●レクチャー「重力とは何か」

大栗博司(物理学者「素粒子論」/カリフォルニア工科大学カブリ冠教授、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構主任研究員)  
9月22日(日) 14:00-15:30

### ●鼎談「建築に反重力は可能か」

青木淳(建築家)×五十嵐太郎(建築史家/あいちトリエンナーレ2013芸術監督)×中村竜治(建築家/出品作家)  
10月20日(日) 14:00-16:00

### ●トーク「空間に息を吹き込む」

内藤礼(出品作家)×樋木野衣(美術評論家)×能勢陽子(当館学芸員)  
12月1日(日) 14:00-16:00

### ●担当学芸員によるスライドレクチャー

9月23日(月・祝)、12月15日(日) いずれも15:00-16:00

### ●映画上映会

「2001年宇宙の旅」(スタンリー・キューブリック監督、1968年、141分)  
9月28日(土) 14:00-17:00

「惑星ソラリス」(アンドレイ・タルコフスキ監督、1972年、165分)  
11月30日(土) 14:00-17:00

### \*担当学芸員によるミニレクチャー付き

\*いずれも美術館1階講堂(定員172人)にて。レクチャー、鼎談、トークは正午より配布する整理券と当日の企画展観覧券が必要です。

### ●担当学芸員によるギャラリートーク

10月13日(日)、10月26日(土)、11月9日(土) 15:00-16:00

### ●作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー

木曜日除く毎日14:00から(約1時間) 土、日、祝日は11:00と14:00からただし、開催されない場合もあります。

\*いずれも当日の企画展観覧券が必要です。1階チケット・カウンター前にお集まりください。

詳細は美術館ホームページにてご確認ください。

<http://www.museum.toyota.aichi.jp>

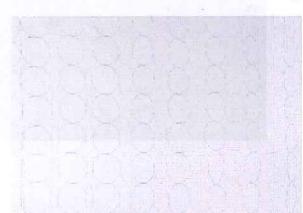
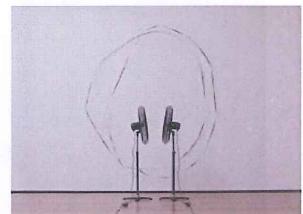
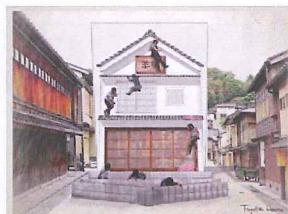
カタログ=「反重力 浮遊 | 時空旅行 | パラレル・ワールド」青幻舎より11月上旬刊行予定

同時開催=「浮漂—漆と現代美術の饗宴—」9月14日(土)-12月24日(火)、「高橋匡太一ひかりのプロジェクト@豊田ー」10月12日(土)-10月27日(日)

次回開催=「愛知アリズムー宮脇晴と岸田劉生の周辺」2014年1月7日(火)-4月6日(日)

豊田市美術館  
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1  
Tel.0565-34-6610 <http://www.museum.toyota.aichi.jp>

[名古屋駅より名鉄豊田市駅まで] 地下鉄東山線伏見駅乗り換え、地下鉄鶴舞線豊田市駅行き終点下車 [名鉄豊田市駅または愛知環状鉄道新豊田駅より] 徒歩15分 [お車ご利用の場合] 東名高速豊田ICより約15分、東海環状自動車道松平ICより約15分



Toyota Municipal Museum of Art  
5-1 Kozakahonmachi 8-chome, Toyota, Aichi 471-0034  
Tel.0565-34-6610 <http://www.museum.toyota.aichi.jp>

[From Nagoya Station to Meitetsu Toyotashi Station] Transfer at Fushimi station on the Higashiyama subway line, and get off at the terminal point of the Tsurumai subway line bound for Toyotashi [From Toyotashi Station and Shin-Toyota Station] 15 minutes walk [By car] 15 minutes from the Toyota I.C. of the Toumei Expressway or the Matsudaira I.C. of the Toukai-kanko Expressway



Toyota Municipal Museum of Art  
豊田市美術館